《特集》

財政公表

子育て支援に重点配分

市は年2回、財政状況を市民のみなさんにお知らせしています。
今月号は、平成20年度各会計の当初予算と、
平成19年度各会計の予算の執行状況【平成20年3月31日現在】をお知らせします。

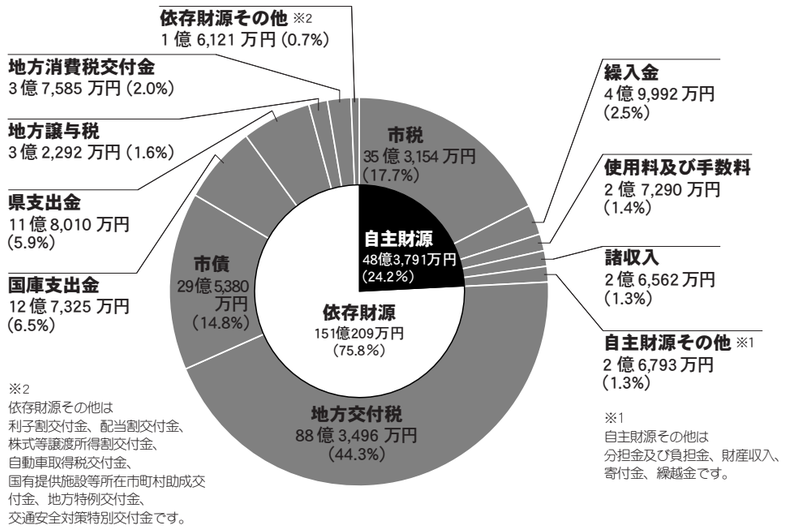
平成20年度の予算編成にあたっては、厳しい財政状況を踏まえ、徹底した経常経費の削減や事務事業の見直しなどを行い、限られた財源を重点的・効率的に配分しました。

一般会計の当初予算額は199億4千万円で、前年度に比べ2億3千500万円、1・2％の減となりました。

特別会計は、後期高齢者医療が新たに設置されたため11から12となり、その当初予算額の合計は、111億4千410万円で前年比25％の減となりました。

水道事業会計の当初予算額は、収益的支出が3億7千402万円で1・9％の減、資本的支出が4億2千684万円で0・5％増となりました。

平成20年度 一般会計歳入 199億4千万円



※2
依存財源その他は
利子割交付金、配当割交付金、
株式等譲渡所得割交付金、
自動車取得税交付金、
国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、
交通安全対策特別交付金です。

※1
自主財源その他は
分担金及び負担金、財産収入、
寄付金、繰越金です。

※4 市税負担の状況は？

●一人当たり市税負担
82,039円（対前年比　●円増）
●一世帯当たり市税負担
1,616,145円（対前年比　●円増）

※市税負担（※4）・行政経費（※5）の算出は…。
各当初予算額÷人口及び世帯数
人口 43,047人　世帯　●世帯
（平成20年3月31日現在）※住民基本台帳

用語解説

【一般会計と特別会計】

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。

一般会計は、福祉や教育、土木など市の行政運営のうち、一般的な事業の経費を経理する会計です。特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理する会計です。

【歳入】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費をまかなうものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

■**自主財源**…市税や使用料、手数料など市が自主的に収入できるお金です。

■**依存財源**…地方交付税や国・県支出金、市債など、国や県から交付されるお金です。

■**市税**…市民のみなさんから納めていただく税金です。

■**地方譲与税**…所得税や自動車重量税などの国税の一部が譲与されるお金です。

■**地方消費税交付金**…地方消費税の一部が交付されるお金です。

■**地方交付税**…市の財政力に応じて国から交付されるお金です。

■**国庫・県支出金**…特定の使途のために国や県から交付されるお金です。

■**繰入金**…一般会計、特別会計、基金（市の預金）等の会計間で移動するお金です。

■**諸収入**…市の預金の利子や貸付金の元利収入などのお金です。

■**市債**…市の事業や国の施策により発行した借入金です。

平成20年度 重点事業

具体的な方針として、総合計画の基本構想に掲げた6つの重点施策を推進し、「あぶくまの人・郷・夢を育むまち～はつらつ高原都市田村市」の実現に向けた取り組みを行っていきます。

①地域を活かす産業の振興
まちづくり基本計画策定事業、いきいき産地づくり支援事業、早稲川生活改善センター建設事業など

②健康づくりと福祉の充実
妊婦一般健康診査助成事業、三世代ふれあい交流施設建設事業、都路幼児施設建設事業など

③未来を担うひとづくり
小学生英語活動交流事業、古道小学校屋体改築事業、運動公園体育館新築事業など

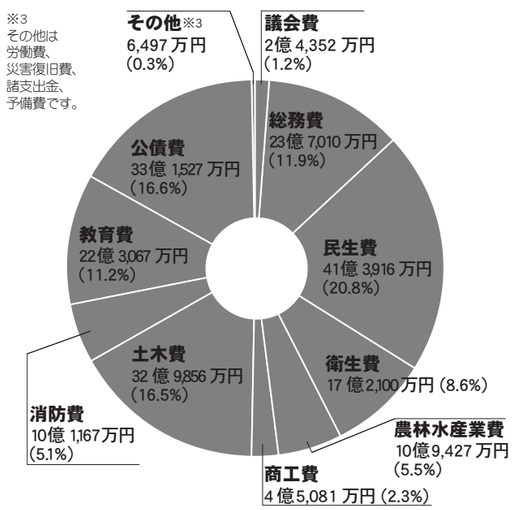
④快適な生活環境の整備
省エネルギービジョン策定事業、防犯対策事業、新エネルギー普及対策事業など

⑤市民参加の郷づくり・まちづくり
地域審議会運営、ふるさと会運営事業など

⑥行財政改革の推進
地図システム統一事業、公債費の繰上償還など

平成20年度 一般会計歳出 199億4千万円

※3
その他は
労働費、
災害復旧費、
諸支出金、
予備費です。



特別会計予算

会計名	当初予算額	対前年増減率
国民健康保険	48億　270万円	▲ 0.8%
老人保健	4億3,320万円	▲ 90.0%
介護保険	27億6,760万円	▲ 4.1%
後期高齢者医療	3億5,630万円	皆増
簡易水道事業	3億3,600万円	▲ 10.2%
滝根町観光事業	6億5,200万円	▲ 1.6%
農業集落排水事業	2,980万円	1.4%
宅地造成事業	1億6,160万円	▲ 7.0%
公共下水道事業	11億9,630万円	3.7%
授産場事業	7,530万円	▲ 0.7%
診療所事業	3億　860万円	0.5%
田村地方介護認定審査会	2,470万円	▲ 0.3%
合計	111億4,410万円	▲ 25.0%

水道事業会計予算

区分	当初予算額	対前年増減率
収益的収入	3億7,402万円	▲ 1.9%
収益的支出	3億7,402万円	▲ 1.9%
資本的収入	2億5,298万円	▲ 6.0%
資本的支出	4億2,685万円	0.5%

※収益的収支：水道水をつくるために必要な経費と水道料金などの収入
資本的収支：水道施設の建設などに必要な経費とその財源

※5 市民1人あたりの行政経費は？

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
5,657円	55,058円	96,154円	39,979円	25,420円	10,473円
土木費	**消防費**	**教育費**	**公債費**	**その他**	**合計**
76,627円	23,502円	51,819円	77,015円	1,509円	463,215円

【歳出】

上の円グラフでは、市が行う事業に必要な経費を目的別に分類しています。行政サービスの水準や行政上の特色を知ることができます。

■**議会費**…議会運営のための経費です。

■**総務費**…庁舎などの維持管理や行政全般の事務に使われる経費です。

■**民生費**…高齢者や障がい者、子育て支援、生活保護などのために使われる経費です。

■**衛生費**…各種健診や予防接種、ごみ処理、ごみ減量化の推進などに使われる経費です。

■**農林水産業費**…農林業の振興や農林道の整備、土地改良事業などに使われる経費です。

■**商工費**…商業の振興や商工業金融対策、観光振興などに使われる経費です。

■**土木費**…道路の整備や維持補修、河川の整備、都市計画、市営住宅管理などに使われる経費です。

■**消防費**…広域消防組合負担金や消防団運営、消防施設の整備、災害対策などに使われる経費です。

■**教育費**…幼稚園、小・中学校などの教育、文化、スポーツの振興などに使われる経費です。

■**公債費**…学校や道路など、たくさんの費用がかかるものは借り入れをして建設を行いますが、この借入金（市債）を返済していくために使われる経費です。

■**諸支出金**…他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。各種基金への積立金などがあります。